

わらび環境学習会

申請時仮タイトル：気候変動がもたらす自然災害対策講座 ～8つのリスクとその対策を考える～

【団体名】NPO法人わらび市民ネット

【担当部署】安全安心課、市民協働課

【提案型】指定テーマ

1. 事業の目的

事業を通して身近な環境について知り、自分自身が暮らしのなかで環境のために出来る取り組みを考えることで、快適で住みやすい持続可能な地域づくりへ向けた意識啓発を行う。

2. 実施内容

「わらび環境学習会」の実施

日時：令和6年11月9日（土）

場所：蕨市福祉・児童センター、要害通り、中央公園

参加者：33名

概要：蕨市道路公園課による「要害通りせせらぎ遊歩道」と「中央公園」の説明や、自然観察指導員による講義を行った後、実際に要害通りと中央公園の散策を実施した。会の最後には参加者へ意見聴取を行った。

↓福祉・児童センターにて



↓環境を観察しながら現地散策



3. 役割分担

団体：チラシの作成、事業の企画運営に関すること

市：広報、チラシ作成補助等、実施の補助に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 74,279円（うち蕨市SDGs推進事業補助金 74,279円）

(2) 支出の主な内容

講師謝礼、印刷製本費（チラシ作成）、消耗品費（啓発品、ビニール袋等）、保険料等

5. 協働による効果

講師との事前打ち合わせにおいて、実際に現地視察を行い、その結果から中央公園の自然も実際に観察するのがよいと判断し、対象を拡大して学習会を行うこととなった。専門家、市民、そして行政と三者の考えを出し合い、より良い事業に向けて団結することが出来た。講義を聞くだけでなく、参加者とともに現地を歩き共に観察することで、快適で住みやすい持続可能な地域づくりを考える第一歩となったと感じる。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

事業の実施までの期間、いろいろと試行錯誤をした結果、最終的に要害通りや中央公園の近隣の方にたくさん参加していただける内容になりよかった。実施日に学校行事が重なったこともあり、子どもの参加は少なくなったが、長く蕨に住む近隣住民の参加が多くなったことで、事業の最後に行った意見聴取の内容が非常に充実した。事業終了後、市民ネットに向けて、要害通りの今後についてのお手紙もいただき、今後は市民ネットとしてそういった市民団体の方のサポートを行っていかねければ、と、改めて市民活動団体のサポートの大切さを実感した。

【担当課より】

市内の環境学習会として、道路公園課にも講師を依頼し「要害通りせせらぎ遊歩道」と「中央公園」を中心に、市内の環境についての事業を実施した。講師の話を聞きながら現地を歩き、身近な環境を知るよい機会となったのではないかと感じた。また、参加者の中に、要害通り等の管理に関わる予定の方がいらっしゃったようで、市民ネット（わらびネットワークステーション）としての団体支援にも繋がっている。